

出水市景観まちづくりニュース vol.3

第3回ワークショップを開催しました！

第3回では、第2回で話し合った景観づくりの方向性を実現するために、住民が出来る景観づくりの取り組みなどについて話し合いました。ワークショップは今回で最後となります。

開催日時 : 令和3年12月3日(金) 18:30~20:30
開催場所 : 出水市中央公民館(小ホール)
参加者 : 18名(うち鹿児島大学大学院の学生7名)、
鹿児島大学木方教授



▲参加者の皆様

第1回 : 2021/10/30
「出水市の景観の魅力/問題点について」「魅力的な景観づくりのためのアイデアについて」

第2回 : 2021/11/12
「出水市の景観の将来像とエリアごとの景観づくりの取り組みについて」

今回

第3回 : 2021/12/3
「魅力的な景観づくりのための取り組みとその実現に向けて」

◇当日の様子

グループワークの様子



①幹線道路沿線景観エリア
グループ



②街並み景観エリア
グループ



③自然景観・広域景観エリア
グループ

第3回は、ご職業や関心のあるテーマに沿って、3つのグループに分かれて話し合いました

今回の成果

短い時間の中で
たくさんの意見を
いただきました！



全体発表の様子

最後にグループごとに発表し、
話し合った内容を
共有しました！



◇結果（一部抜粋）

前回のワークショップで話し合った「景観づくりの方向性」を実現するために必要な景観づくりの取り組みをグループごとにエリアを分けて話し合いました。

① 幹線道路沿線景観エリア
グループ

② 街並み景観エリア
グループ

③ 自然景観・広域景観エリア
グループ



エリア	景観づくりの方向性	必要な景観づくり ※文章は読みやすさを考慮し、一部簡単・修正
① 出水麓地区	出水市の代表する歴史的な街並みを保全し、観光名所としても賑わいを感じるような街並みを目指す	<ul style="list-style-type: none"> 湧水場を景観重要公共施設に指定する 事業者が、重要伝統的建造物群保存地区でイベントを行う 行政は、景観を保全しながら人々が生活できるようにバランスを取る 行政より生垣の保全を支援する
② 本町商店街	出水麓地区との繋がりを大切にし、個性ある店舗が立ち並び賑わいや安心感のある街並みを形成する	<ul style="list-style-type: none"> 出水麓地区と繋がるような動線を確認する。2つのエリアの結びつけを強くするために、事業者による取り組みを行う 出水公会堂を景観重要建造物に指定する 景観アドバイザーによる指導をしてもらえるような制度をつくる
④ ツル越冬地	出水市の象徴、ツルの越冬する景観を保全しながら観光地としての整備も推進していく	<ul style="list-style-type: none"> ツルの渡来地周辺の干拓地の門や用水路をきれいにする 錯綜する車と人の動線を分ける安全面、ツル観察の観光の両面から遊歩道を整備する 観光バスのルート整備や観察ポイントの分散 事業者を巻き込むことで、通年でツルによる観光業を促進する
⑧ 南九州西回り自動車道・国道3号	南九州西回り自動車道開通後の沿道景観について検討が必要である	<ul style="list-style-type: none"> 南九州西回り自動車道の開通で生活道路となり生活に必要な小規模根店舗が増えた。大規模店舗の立地は見込みづらいため、建築物の規制は緩めて良いのでは 景観を阻害する空き家の改善 快適な通行のため、道幅を広くする
⑩ 国道447号	商業拠点であるロードサイド商業地の賑わいを確保しつつ、大川内方面の山間部の風景を保全し、景観の重なりを楽しめるような通りを目指す	<ul style="list-style-type: none"> イチョウより看板の建築基準4mの方が低い場合、高い看板を立てても見えないという問題があるので検討が必要 建物や看板の色について、街路と調和したアクセント色は入れてもいいのではないか 沿道の景観ルールを守っている企業に対して、行政より助成、減税などの経済的支援、優良表彰として市報に掲載する
⑬ 川の景観	橋などの視点場から、アユの遡上の様子や川に親しむ一体的な水辺の親水空間づくりを進め、川沿いの景観形成や保全を行う	<ul style="list-style-type: none"> 河川敷が汚いので、整備を行う 出「水」であるように、地名に「水」が入っていることを活かす 川辺を眺めながらゆっくりできるような親水空間を整備する

◇今後の予定

全3回で皆様いただいた意見をもとに、下記のスケジュールで景観計画の改定を進めていきます。今後も地域の皆様と景観づくりの取り組みを続けていきたいと思っておりますのでご協力お願い致します。

12月～1月	景観計画の見直し（案）の検討	ワークショップと市民アンケート結果、各種調査を踏まえて景観計画の見直し（案）を検討し、景観審議会で審議します。
2月以降	パブリックコメント	景観計画の見直し(案)について、市民の皆様からご意見を募集します。
	景観計画の改定	パブリックコメントでの意見を踏まえ、景観計画を改定します。